

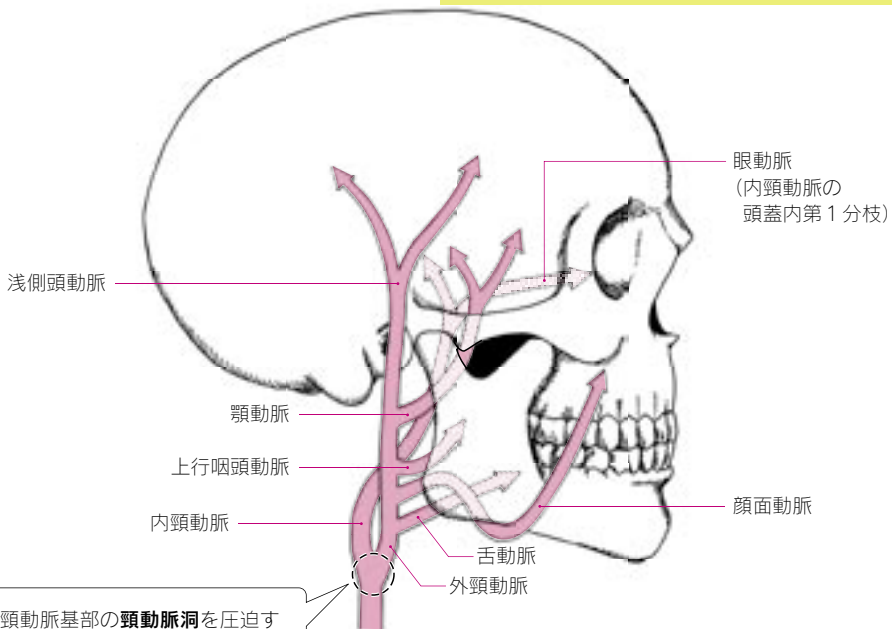
頭頸部と四肢の主な動脈を図示し、分布域を概説できる。

Point

- 右総頸動脈は腕頭動脈から分岐し、左総頸動脈は大動脈弓から直接分岐する。その後、甲状軟骨の高さで内頸動脈と外頸動脈に分かれる。
- 内頸動脈は頭蓋内第1分枝である眼動脈を分岐する。その後、前大脳動脈、後交通動脈、前脈絡叢動脈を分岐し、中大脳動脈となって終わる。
- 外頸動脈は、舌動脈、顔面動脈、上行咽頭動脈、顎動脈、浅側頭動脈などを分岐する。
- 鎖骨下動脈は椎骨動脈、内胸動脈、甲状頸動脈、肋頸動脈を分岐したあと、腋窩に出て腋窩動脈となる。腋窩動脈は大円筋の下縁で上腕動脈となり、さらに肘窩で尺骨動脈と橈骨動脈に分かれる。
- 腹大動脈は左右の総腸骨動脈に分岐した後、仙腸関節の高さで内・外腸骨動脈に分かれる。
- 内腸骨動脈は直腸、子宮、膣、膀胱、陰茎などの骨盤内臓器を栄養する。
- 外腸骨動脈は、鼠径靭帯の下で大腿動脈へ移行し下肢を栄養する。

的を射た Point 解説とユニークで印象的なイラストの組合せにより、難しい知識の習得が容易になっています。

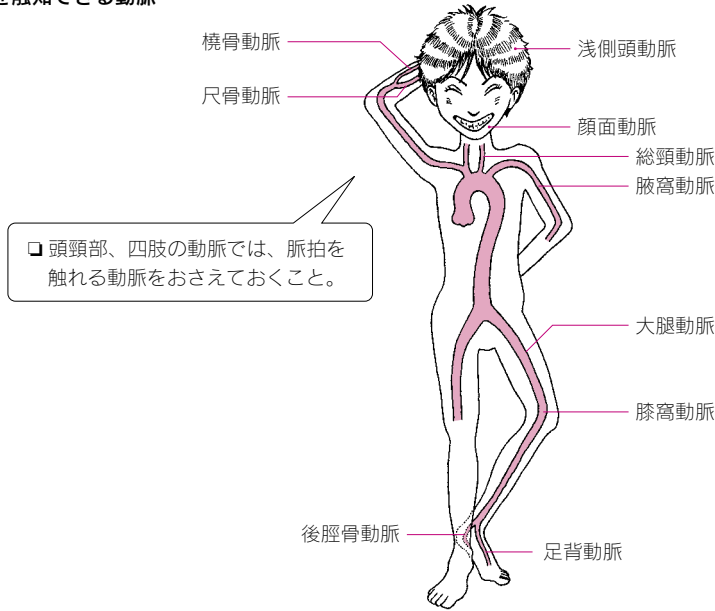
図 11 頭頸部の動脈



□ 内頸動脈基部の頸動脈洞を圧迫すると迷走神経反射が起きて徐脈と血圧低下が起こる。
→発作性上室性頻拍症の初期治療に用いられる。

- 総頸動脈から内頸・外頸動脈に分かれる時点では内頸動脈のほうが外側に位置しているが、上行するとともに外頸動脈の後方を回り外頸動脈の内側に位置するようになる。外頸動脈とは外側を走行する動脈という意味ではなく、「頭蓋の外を走る動脈」という意味であることに注意する。
- 外頸動脈のうち顎動脈、上行咽頭動脈、舌動脈は頭蓋内に入っていくことに注意。

図 12 脈拍を触知できる動脈



CD-ROM に収録した問題は、問題番号のすぐ下に CD マークを入れてあります。
CD-ROM には 180 問を収録しました。

□□ 21



誤っているのはどれか。

- A 総頸動脈は甲状軟骨の高さで内頸動脈
- B 外頸動脈は顔面動脈を分枝する。
- C 内頸動脈は浅側頭動脈を分枝する。
- D 内頸動脈と外頸動脈が分岐したところでは内頸動脈が外側に位置する。
- E 顎動脈は外頸動脈から分岐後、頭蓋内に向かう。

質の高いオリジナル新作問題を多数収録。
必要な知識を最小限に絞り込んだ解説です。
医師国試の基礎知識の整理にも最適です。

□ 解法ガイド

右総頸動脈は腕頭動脈から分岐し、左総頸動脈は大動脈弓から直接分岐する。その後、甲状軟骨の高さで内頸動脈と外頸動脈に分かれる。内頸動脈は、頭蓋外では枝を出さず、頭蓋骨内に入った後、硬膜を貫く直前で、頭蓋内第1分岐動脈に相当する眼動脈を分岐する。その後、前大脳動脈、後交通動脈、前脈絡叢動脈を分岐し、中大脳動脈となって終わる。一方、外頸動脈は、頭皮や硬膜を栄養し、基本的に脳実質を栄養することはない。上甲状腺動脈、上行咽頭動脈、舌動脈、顔面動脈、眼角動脈、後頭動脈、後耳介動脈、顎動脈、中硬膜動脈、下歯槽動脈、下行口蓋動脈、眼窩下動脈、顔面横動脈、浅側頭動脈などを分岐する。

□ 選択肢考察

- A 総頸動脈は甲状軟骨の高さで内頸動脈と外頸動脈に分かれる。(○)
- B 顔面動脈は外頸動脈の枝である。(○)
- C 浅側頭動脈は外頸動脈の枝である。(×)
- D 内頸動脈は、内頸動脈と外頸動脈が分岐した部位では、外頸動脈の外側に位置しているが、上行するとともに外頸動脈の後方を回って内側に位置するようになる。(○)
- E 顎動脈、上行咽頭動脈、舌動脈は、外頸動脈から分岐後、頭蓋内に向かう。(○)

解答：C